



## 災害に強いまちを目指し事業本格化

### 益城台地中土地画整理事業合同調印式

交流情報センターミナテラスで4月21日、益城台地中土地画整理事業合同調印式が行われました。

広安西小・グランメッセ熊本に隣接する益城台地中地区。式には、建設会社や住宅メーカーなど14社が出席し、町を立会人として、益城台地中土地画整理組合と各社が協定を交わしました。

今後、住宅を中心に生活利便施設や、一時避難場所としての機能を備えた公園なども整備され、西・東地区と共に複合的なまちづくりが進められます。



交流情報センターミナテラスで行われた合同調印式



西村町長から勲記を受け取った青柳あゆみさん

## 長年にわたる功績をたたえて

### 特別叙勲伝達式

令和4年1月に逝去された、元町議会議員の石田秀敏さん(東無田)が特別叙勲で旭日単光章を受章し、その伝達式が4月27日、役場仮設庁舎で行われました。

石田さんは、3期12年にわたり議員を務め、住民福祉の向上や町の復旧・復興に尽力した功績などにより、同章を受章しました。

式に出席した娘の青柳あゆみさんは、「父の残した書類に、東無田の災害公営住宅や議会の資料がありました。最後まで大事にしていたんだと思います」と話しました。

## 志賀哲太郎展で深まる台湾との交流

### 台湾駐日代表らが町を訪問

4月23日、台北駐日経済文化代表処代表の謝長廷さんと台北駐福岡敬愛文化代表弁事処長の陳銘俊さんが、潮井自然公園内みんなの家を訪れました。

同施設では5月22日まで「台湾の聖人・志賀哲太郎展」が行われており、行政院長(首相)を務めた謝駐日代表は、本町出身で台湾教育界において、今もなお偉人とされる志賀哲太郎の功績について、熱心に見学されました。

顕彰会をはじめとする関係者の尽力により、台湾と町の交流は着実に深まりつつあります。



「台湾の聖人・志賀哲太郎展」が開催された潮井自然公園内みんなの家の前で。前列左から4番目が謝駐日代表、5番目が陳処長



5月1日、復興まちづくりセンターにじいろで初めて、地域サロンが開催されました。開催したのは市ノ後サロン「あおぞら」。参加した約25人は、バンド「みゆき&おーとるず」のメンバーで、共に町民生委員・児童委員を務める徳山秀人さん(馬水北)と松本みゆきさん(寺迫)が奏でる懐かしの歌謡曲や童謡に酔いしれました。